

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連 (北陸)	良くなる やや良くなる	-	-		
		商店街（代表者）	・夏に開店した大型商業施設の影響は今後も若干受けると思うが、今は徐々に平年並みに戻りつつあるので、今後は現状の悪い状況から少しずつ良くなるものと思う。		
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・北陸新幹線効果が徐々に街中まで浸透し、長く続いている。この傾向はしばらく続くと思われる。		
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・年末に向けて案件や見込みがあり、業界としても活発になってくる時期である。		
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・秋にかけて行楽が本格化し、大型のコンベンションも多く予定されている。加えて魚の種類も増え、なんといってもカニ漁が解禁される。今以上ににぎわうと予想できる。		
		百貨店（営業担当）	・残暑がほとんど感じられず秋本番ということになり、ファッション関連はジャストシーズンのアイテムが非常に好調に推移するだろうと思われる。食に関しても、暑さがあまりないことから、旬の食材が好調に推移していくのではないかと考えている。		
		乗用車販売店（役員）	・年末に向けて、当社の主力車種においてマイナーチェンジ、モデルチェンジが展開されるので、もう一段ステップアップできるような販売環境を予想している。		
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・2～3か月先は少し良くなるという希望的観測で回答した。本当に良くなってもらわないと、店をたたまなくてはならない状態になってしまうと感じている。		
		その他小売〔ショッピングセンター〕	・ハロウィーン企画が定着してきた。菓子、飲料、パーティグッズが順調である。天候、気温の巡りもよく、季節物を中心に衣料や食品の売上が順調に進みそうだ。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・11月までは宿泊や学会、大会を好調に受注しているが、冬場の12月からはまだ見えていない。		
		都市型ホテル（役員）	・婚礼部門及びレストラン部門は横ばいである。宴会部門が今秋の大会関係により増加し、宿泊も増加傾向にあり、全館ではやや良くなると見込む。		
		旅行代理店（従業員）	・北陸新幹線の影響が予想以上に良く、しばらくは良いまま続くと思う。		
		タクシー運転手	・来月には大きなイベントなどがあることから、その準備などで動きがあると思われる。		
		通信会社（役員）	・契約獲得数は、現在でも例年に比べて比較的順調だが、年末に向けて更に伸びるとみている。解約数の減少傾向と相まって、純増数の更なる増加を期待している。		
		住宅販売会社（従業員）	・来客数は増えている状況であるが、検討時間が多くなっているだけである。今後、契約数及び契約金額共に増えると思う。ただし、割安なものを求める若年層と納得できるものを求める高齢層との差が、今までより両極端になってきているように思う。		
		変わらない		商店街（代表者）	・既存の店だけでは変化に乏しいため、新たな集客が難しい。
				商店街（代表者）	・今まで景気を支えていた高齢者の買物が減少している。一家に1人はフリーターの時代であり、いよいよ年金もそちらの方へ回されているような気がする。
				百貨店（売場主任）	・中国経済の減速並びに日経平均株価の低迷が続いているため、先行きには不安を感じるが、今月まちなかに新規にオープンした商業施設が広域から集客しており、市内中心部にぎわいが戻った。しばらくはこの状態が続くと思われる。
				百貨店（営業担当）	・プレミアム付商品券の使用期限にあわせて来客数が増加すると予想するが、使用場所が分散されると考えられ、変わらないと思う。
スーパー（店長）	・生鮮食品を扱うスーパーとしては、天候などの悪影響は大きく、今後も安定するまでは当面予測できない状況といえる。				
スーパー（総務担当）	・秋から発売される新商品は実質値上げになっているため、今後も1品単価は上がるだろうが、買上点数、客数は増加しないだろう。				
スーパー（総務担当）	・北陸新幹線効果は夏休みの8月までと想定していたが、いまだ好調である。年内は続くと思われる。				
スーパー（統括）	・現状は大型店など競合店の出店により来客数の増加は見込めないが、実際には客単価は上昇している。値上げや青果物が高値推移している中で、そこそこの売上が確保できるとみている。				

コンビニ（経営者）	・販売高の業績としては前年並みに推移しているが、人手不足や、仕入商品の利益率が小さくなったり、やることに対するコストがかかってきているような感じで、徐々に厳しさを増しているのが現実である。なかなか明るい状況はみえない。
コンビニ（経営者）	・イベント日の天候により数字は若干違うのだが、現在の状況が劇的に変わるとい要素は今のところ見当たらない。
衣料品専門店（経営者）	・大型店の相次ぐ開業の影響が出ているが、特に衣料品については消耗戦のようで、底がみえない。
衣料品専門店（経営者）	・良いと思える側面は、北陸新幹線と都会からの跳ね返りである。悪い面は、米などの食料品を中心に物価が上がってきているということである。最近、近辺に高級マンションが建設されたが、本当に売れるのか心配されているようで、わびしい話である。
家電量販店（店長）	・高単価商品である4Kテレビはまだ動きが悪い。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の販売状況を見ると、今年は予想以上に高額消費を控えているのではないかと思うくらいである。低調な状況が年内一杯続くと思う。
乗用車販売店（従業員）	・客の購買意欲が低く感じられる。
自動車備品販売店（従業員）	・新車販売の低迷が続いており、冬季のスタッドレス需要も前年割れの予測が出ており、最大の需要期だが明るい兆しはない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・春の北陸新幹線開業や夏の大型商業施設の開業で、北陸エリアの消費は活発化しているように感じる。ただし、この好況は一時のご祝儀相場的な感じが否めず、時間が経つにつれ反動減が懸念される。
一般レストラン（店長）	・来客が特定の日に集中する傾向にある気がするが、全体としては大差ない。
スナック（経営者）	・やはり株の乱高下や国際的なもろもろの影響により、心理的な面での影響に左右されやすいと思う。
観光型旅館（経営者）	・10月からはJRのデスティネーションキャンペーンが始まり、他の大手旅行会社もJRに合わせて全社キャンペーンを展開してくるので、年内は入込客数、売上ともに順調に前年を上回る見込みである。
観光型旅館（スタッフ）	・9月以降の5か月間の予約状況は、130～189%で推移している。仕入れは1月以降にシフトしている。
旅行代理店（所長）	・9月の大型連休も過ぎ、前年契約高と変わらない数値になっている。受注も間際傾向が多く、北陸新幹線効果による今後の受注に期待したい。
通信会社（職員）	・9月の大型連休の北陸エリア観光客増加など景気の良い話題があり、レジャー消費意欲は高いのかなと思うが、消費者の購買意欲などは高くないのではないかと感じる。
通信会社（営業担当）	・計画していた契約数は達成しているが、客単価が上がらず平行線である。大きく変革する要素が特に見当たらない。
通信会社（営業担当）	・引き続き新商品が出るため、販売も好調になると思われる。また年末商戦もあり、更なる販売が見込める。
通信会社（店舗統括）	・新商品の発売はあるが、どの程度盛り上がるかは未知数である。
通信会社（役員）	・年末商戦も近づき、現在の好調を維持していくものと考える。
テーマパーク（職員）	・北陸新幹線の開業効果で比較的好調に推移してきたものの、現在の状況では12月以降は首都圏方面からの予約は落ちてきており、国内の団体客、個人客は、やや横ばい傾向になっている。また、海外客も全体としては落ちており、変わらない状況が続くと思われる。
その他レジャー施設（職員）	・新規で入会してもらえそうな、ウキウキした雰囲気を感じられない。
美容室（経営者）	・景気が良くなるようなニュースが見当たらない。消費マインドが冷え込んでいる。
住宅販売会社（従業員）	・年末に向けて仕事量が集中しており、業者や職人の手配に苦慮している。今後のコスト増加は免れない。また、来春の新卒者を含めた建築関係の人手不足は否めず、契約ができて完工ができない恐れもあり、そのバランスが上手くいか心配である。
住宅販売会社（従業員）	・契約、着工件数とも厳しい状況が続くと思われる。安価な価格帯の商品を選ぶ客が増えてきており、当社の主力価格帯とのずれを感じるが続くと思われる。
住宅販売会社（従業員）	・新築する客が少なくなっているが、リフォームの動きが目立つように思う。

	やや悪くなる	一般小売店〔書籍〕 (従業員)	・今月の動向から、悪くなっていくとしか思えない。
		コンビニ(店舗管理)	・昨年の米価格は例年よりも安い水準であったが、本年度の新米からは標準と予想されている。恩恵がなくなる分、厳しくなる。
		家電量販店(店長)	・大型商業施設ができた影響が徐々に出てきている。特に低価格帯の趣味し好品の販売数量に影響が出てきており、販売点数が下がることによって客単価に影響を受けている。
		高級レストラン(スタッフ)	・11月までの団体受注は例年比130%ほどと好調だが、12月以降は例年並みの受注ペースである。旅行客が受注を伸ばしているが、12月以降は低調である。
		一般レストラン(統括)	・慢性的な人手不足により、サービスの低下を懸念している。特に外食はサービスの低下が来客数減少に直結するため、この対策として教育に要する人件費と教育者の残業が増え続けている。しかし売価に転嫁できず、利益を圧迫している状況である。当面はこの状況が続くと思われる。
		タクシー運転手	・今まで順調に人出があったが、これから冬場にかけて人出は減るのではないかと思う。
		パチンコ店(店員)	・行政の指導が厳しくなってきた、優秀な商品(機械)が出てこない。
	悪くなる		
企業 動向 関連 (北陸)	良くなる	-	-
	やや良くなる	プラスチック製品製造業(企画担当)	・軸足を置く住宅市場は、5月以降に前年比新設住宅着工数が順調な伸びを示している。部材供給は着工後2~3か月後となることから、業績的には上向くものと予想している。
		通信業(営業担当)	・相変わらずセキュリティ関連のシステムの売行きが好調となっている。また、価格より便利さを求めていく傾向といえる。
	変わらない	繊維工業(経営者)	・国内市場の回復に期待感があるものの、まだ時間がかかりそうである。
		繊維工業(経営者)	・海外、特に中国の状況が少し悪く、影響しているような状況である。
		金属製品製造業(経営者)	・2~3か月先の受注の入り具合を見て、そのように判断した。
		一般機械器具製造業(経理担当)	・現状は大きな変化はないと考えているが、新興国経済の急減速など懸念材料はあると思う。その状況如何では株価下落から円高につながり、輸出低迷ということにもなりかねないと思う。
		一般機械器具製造業(総務担当)	・欧米の受注も安定しており、国内の受注も落ち着いている。
		精密機械器具製造業(経営者)	・為替、株価、欧米の経済動向など、非常に不安要素が多い状況は変わらず、トレンドとして良くなっていくという判断はできない。
		輸送業(配車担当)	・今後、急激に現状の流れが変化するとは思わず、しばらくこの状態が続くと思われる。
		金融業(融資担当)	・引き続き北陸新幹線効果などの高揚感はあるものの、人件費の高騰や人手不足など負の側面も出てきている。
		新聞販売店〔広告〕 (従業員)	・9月は前年売上を超えた。衣料品やホームセンターなど季節に関わる量販店のチラシ出稿が上向いた。まだ一過性のものであり、景気が上向いてきてるとは言えない。
		司法書士	・不動産取引の決済において評価額以下の売買代金のときもあり、まだ地価が上昇するほどの景気回復感がない。
	やや悪くなる	食料品製造業(役員)	・今後、年末に向けて輸入原材料の受け入れ価格が一層上昇することで、生産部門をはじめとしてコストの見直しを進めているものの、収益性に影響が出てくるものと思われる。
		建設業(経営者)	・公共工事発注量の減少が、県内の建設業界全体に再びダンピング受注を引き起こすだろう。
		建設業(総務担当)	・地域によって工事発注量にばらつきが出ており、受注価格競争の激化傾向が現れている。受注環境は厳しさが増すと思われる。
		金融業(融資担当)	・株安の状況に変化がなく、物価がじわじわと上がっている様子である。当面の消費回復が遅れると思う。
		不動産業(経営者)	・法人客も個人客も現在の話は情報があるが、2~3か月先の情報がかなり少なくなっている。

		税理士（所長）	・ 製造業で中国の影響が出ていることもあるが、これから人手不足の問題が慢性的に大きな要因になるであろう。特に熟練工、あるいは非常に熟練した技術者や機械の設計者が、定年を迎えどんどん退職している。そういった人々の技術の伝承が、中堅メーカー以下ではうまく行われていないように感じる。作業する人はいるが、設計できる人がだんだん少なくなってきた。熟練工が少なくなってきたという問題が、少し気になる場所である。人材の育成、若手の育成、中途入社も含めて層を厚くする必要があるのが、長期的な問題である。多くの経営者からの回答では、実際にそれが生産の遅れにも表れてきているということであった。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・ 有効求人倍率が1.5倍を超え、非常に高い水準で推移している。
(北陸)	変わらない	人材派遣会社（役員）	・ 労働者派遣法改正で、ますます求職者が派遣システムから遠のく恐れがある。
		人材派遣会社（社員）	・ この先、人材確保が非常に厳しくなりそうである。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ 求人につながる大きな雇用の話が出てこない。
		職業安定所（職員）	・ 新規求人数は一定程度以上の数となっているが、飲食サービスなど就職希望者が少ない業種からの求人も多く、就職者の増加につながらない状況がみられる。
		職業安定所（職員）	・ 低価格、低コストに耐えるためには大量生産が必要であるが、人手不足により受注があっても対応できない事業所が多くなってきているため、この状況が続くようであれば改善を見込むことは厳しい。
		民間職業紹介機関（経営者）	・ 夏以降に開店した大型商業施設はにぎわっている。しかし、その分近辺のスーパーなどの客は減っている。特に土日祭日などが目立っている。
		学校 [大学]（就職担当）	・ 今年度の求人も9月末で一段落すると思われる。次年度に向けての企業の求人活動も例年10月以降始まるので、その状況を見極めたい。
	やや悪くなる	新聞社 [求人広告]（担当者）	・ 新卒については採れていないという話が多く聞かれるが、目の前の求人数が下がっているということは、数が月先にはあまり良い展望が見られない証拠ではないかと考える。
	悪くなる	-	-